



親園小だより

和

No.10

令和3年1月27日

親園小学校長 白石 一成

教育目標 自然と文化を愛し、心身ともに健康で知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する。 ○自ら学ぶ子ども ○心豊かな子ども ○心身をきたえる子ども

今年もよろしくお祈いします。

冬休み明けの朝、登校の様子を見ていると、いつものように元気に登校して来ました。「お年玉もらった」と聞くと、うれしそうに「〇〇円もらった」と答えてくれました。「どこかに行った」と聞くと、ほとんどの子が、「今年はどこにも行けなかった」と答えていました。コロナがすぐ近くまで迫っているような感じがしました。

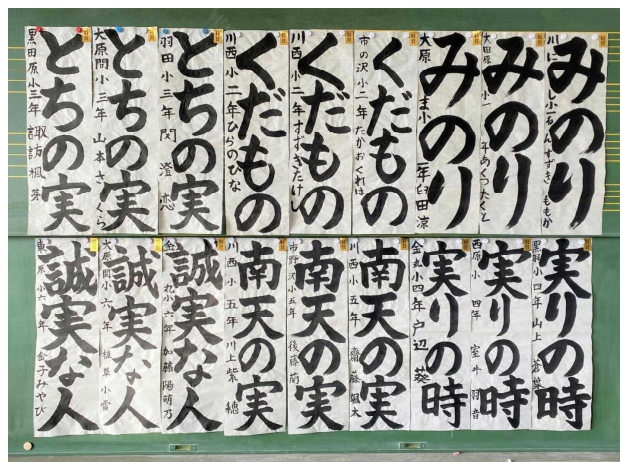
朝会は、感染症防止のため放送で行いました。その中で二つのことを話しました。

一つ目は、1月2・3日の箱根駅伝の話をしました。初日優勝のチームが次の日に逆転されるのは、珍しいことではありませんが、今年のように10区の最終ランナーで逆転というのは、ここ数年なかったような気がします。9区までずっと一位だった、創価大学のチームが優勝するものだと思われていましたが、最後の最後で駒澤大学のチームが逆転しました。このことから学年の最後の時期に、「最後まで諦めず頑張る」ということを子どもたちに語りかけました。6年生は、卒業学年としての小学校のまとめ。5年生以下は、進級に向けた、学年のまとめをそれぞれ頑張ってもらいたいと思います。

二つ目は、コロナ感染症についての誹謗中傷がないようにということです。学校のホームページにも掲載しましたが、感染者や医療従事者に心ない言葉掛けが後を絶たないようです。子どもたちにコロナの話をするときは、「悪いのは、人ではなくコロナ」と言っています。現在本校では、幸いに感染確認はありませんが、日常の軽はずみな言動の中にも「コロナ」の言葉が出ないようにと話しました。感染症防止に御協力いただき助かっていますが、さらに進めて、誹謗中傷の防止にも御協力ください。

書初め展

お正月というとな何を連想しますか。子どもたちならお年玉でしょうか。私は、書初めです。19日には、大田原市の審査会がありました。さらに22日には、那須地区の審査会がありました。両方とも本校が会場なので、子供のお迎えにいらっしやったとき、なぜこんなに車が止まっているのだろうと戸惑われた方もいたと思います。例年ですと審査の後、展示会になりますが、コロナ感染症の影響で今年は、中止となってしまいました。いろいろな活動にコロナの影響が出ています。いつ終わるかわからないコロナとの戦いですが、御協力をお願いします。



子どもたちの様子はホームページで

10月1日から親園小学校のホームページを公開しています。御家庭での話題にさせていただけると幸いです。

アドレスは、

<https://ohtawara-city-chikasono-elementary-school.edumap.jp/>

です。



親園小